

特集

アセスメント・ツール活用事例集

—キャリアカウンセリングとキャリア教育の現場から—

生徒や学生が自分に合った進路（職業、学部学科等）を検討し、選択する際、自分の個性と職業との相性＝「職業適性」について考えることはとても大切です。

特に働いた経験のない生徒・学生にとって、アセスメント・ツールは自己理解を深め、自分と職業の世界を結びつけて考える大きなきっかけとなります。そして、目的に合った検査を実施することで、効果的なキャリア支援につなげることができます。

また、本人の特性や今までの経験、価値観などから、検査結果の受け止め方は一人ひとり異なるものです。実施後は、支援者が被検者の思いを丁寧に聞きながら、検査結果を素材に将来について検討していくことが重要です。

今号では、過去のキャリアカウンセリング事例から、アセスメント・ツールをうまく活用して効果を挙げたケースを紹介します。

特集

巻頭言

アセスメント・ツールとしての適性検査の意義と効用

横山明子 帝京大学 宇都宮キャンパスリベラルアーツセンター 教授 ————— 4

カウンセリング事例

総合学科高校での系列・科目選択、
進学の際の学部・学科選びに

千葉吉裕 東京都立晴海総合高等学校 キャリアカウンセラー ————— 6

高校での文理選択のヒントとして

—自分は何が得意なのか能力的特徴を知る—

編集部 ————— 8

職場適応支援におけるGATBの活用と課題

—学習障害を診断された事例から—

向後礼子 近畿大学 教職教育部 准教授 ————— 10

商社の営業職志望からIT業界SEに方向転換

山本公子 ことろとキャリアのカウンセリングオフィス結 代表 ————— 12

家電量販店に入社して2年、今の仕事は苦手で転職したい

—転職に向けた就職支援機関での適性検討—

編集部 ————— 14

キャリア・インサイトの活用

—大学等における実践例—

山本公子 ことろとキャリアのカウンセリングオフィス結 代表 ————— 16

インタビュー

社会人に受けていただきました ————— 18

●VRT×料理人

●GATB×コピーライター

実践事例

大学生と職業興味

—職業レディネス・テスト（VRT）を活用した実践事例—

大山佳三 熊本学園大学 講師 ————— 20

アセスメント・ツールの概要 ————— 25

●職業レディネス・テスト（VRT）

●厚生労働省編一般職業適性検査[進路指導・職業指導用]（GATB）



「職業研究」バックナンバーのご案内

ホームページ内「職業研究」ページでは、本誌バックナンバーがPDFファイルでご覧いただけます。テーマ別に特集記事を探すこともできます。キャリア支援のヒントとしてご活用ください。

▶<https://www.koyoerc.or.jp>

掲載している活用事例は、執筆者の個人的見解に基づいてお書きいただいております。参考としてご紹介しているものです。また、執筆者の所属・肩書は執筆当時のものです。